

頁	章	節	項	名称	訂正箇所	誤	正
				カラー写真5頁目	写真名称	大峰鉱山	大峯鉱山
				カラー写真7頁目	写真名称	松山東雲学園正門	私立松山女学校正門 (現・松山東雲中学・高等学校正門)
37	3	1	(1)	立間ミカン貯蔵庫二棟(加賀山家・赤松家)	写真(三段(上・中・下) 上段	加賀山家みかん倉庫	赤松家みかん倉庫
37	3	1	(1)	立間ミカン貯蔵庫二棟(加賀山家・赤松家)	写真(三段(上・中・下) 中段	赤松家みかん倉庫	加賀山家みかん倉庫
37	3	1	(1)	立間ミカン貯蔵庫二棟(加賀山家・赤松家)	沿革(歴史・由緒) 上から16行目	(現・毛利正則家倉庫)	(現・毛山正則家倉庫)
40	3	1	(1)	鏡村煙草耕作組合煙草乾燥室	沿革(歴史・由緒) 上から7行目	各国に	各戸に
40	3	1	(1)	鏡村煙草耕作組合煙草乾燥室	沿革(歴史・由緒) 上から8行目	建てさせ	建てさせた
46	3	1	(1)	岡本景光家住宅	<物件名・データ> 建築年	大正初期の古写真には写っている	大正初期の古写真には右側に 養蚕室が写っている
46	3	1	(1)	岡本景光家住宅	沿革(歴史・由緒) 上から2行目、5行目	影光	景光
54	3	1	(2)	上浮穴地区の林道鉄道跡ほか	写真(三段(上・中・下) 中段	河ノ子林道終点作業場	河ノ子林道終点作業場跡
62	3	1	(3)	浦和盛三郎家住宅・魚類製造家屋(現・目関家)	技法・意匠上の特徴 9行目	急造庫	きゅうぞうこ 急造庫
78	3	2	(1)	平沢鉱山	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
79	3	2	(1)	高市鉱山	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
80	3	2	(1)	大瀬鉱山	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
82	3	2	(1)	金山鉱山	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
84	3	2	(1)	大峯鉱山	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
86	3	2	(1)	今出鉱山	<物件名・データ> 物件名	今出鉱山	今出鉱山及び川之石選鉱場
86	3	2	(1)	今出鉱山	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
87	3	2	(1)	柳谷鉱山	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年

頁	章	節	項	名称	訂正箇所	誤	正
88	3	2	(1)	佐島製錬所	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
89	3	2	(1)	女岬製錬所	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
90	3	2	(1)	三崎製錬所	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
100	3	2	(1)	小大下島石灰鉱山跡	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
101	3	2	(1)	弓削島石灰鉱山跡	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
102	3	2	(1)	岩井の石灰窯	<物件名・データ> 建築年	建築年	創業年
114	3	2	(2)	東洋紡績川之石工場原綿倉庫・仕上室及び娯楽室	<物件名・データ> 物件名	東洋紡績川之石工場原綿倉庫・仕上室(現・八興製材(株)) 及び娯楽室(現・八幡浜紙業倉庫)	東洋紡績川之石工場原綿倉庫・仕上室(現・八興産業(有)) 及び娯楽室(現・八幡浜紙業倉庫)
120	3	2	(2)	中央染工(染物工場)	<物件名・データ> 物件名	中央染工(染物工場)	中央染工(現・重松倉庫)
154	3	2	(9)	波止浜船渠(株)2号ドック	<物件名・データ> 物件名	波止浜船渠(株)2号ドック (現・(株)新来島波止場どつく2号ドック)	波止浜船渠(株)2号ドック (現・(株)新来島波止浜どつく2号ドック)
159	3	3	(1)	旧大洲商業銀行本店	<物件名・データ> 建築年	明治30(1897)年12月8日竣工	明治34(1901)年12月8日竣工
161	3	3	(1)	豫州銀行本店(現・伊予銀行八幡浜支店)	写真名称	屋上茶室「招雲軒」	屋上茶室「紹雲軒」
162	3	3	(1)	株式会社土豫銀行御荘支店	<物件名・データ> 追記		施工 前上建設(八幡浜)
188	3	4	(3)	①国鉄	【松山～宇和島】 下から6行目	日米開戦ともなりしばらく戦争末期の開通を待たねばならなかった。 戦時国策として突貫工事が実施された笠置トンネルや女夫岩橋梁などの突貫工事によって、昭和20年6月20日、30年ぶりに初めて大正5年以来の予讃本線全線開通となった。	日米開戦ともなり戦争末期の開通を待たねばならなかった。 戦時国策として笠置トンネルや第二女夫岩橋梁などが突貫工事でおこなわれ、昭和20年6月20日、予讃本線の全線開通となった。大正5年以来、30年ぶりのことであった。
190	3	4	(3)	宇和島運転区 転車台及び扇形機関庫	沿革(歴史・由緒) 上から7行目	転車台は、銘板によると、	転車台は、銘版によると、
190	3	4	(3)	宇和島運転区 転車台及び扇形機関庫	右下写真タイトル	転車台の銘板	転車台の銘版
192	3	4	(3)	②伊予鉄道	横河原線	煉瓦橋(明治25(1892)年)	煉瓦橋梁(明治25(1892)年)

頁	章	節	項	名称	訂正箇所	誤	正
192	3	4	(3)	②伊予鉄道	横河原線 煉瓦橋梁 上から2行目	煉瓦暗渠として築造	煉瓦橋梁として築造
192	3	4	(3)	②伊予鉄道	横河原線 煉瓦橋梁 上から5行目	建設年の判断できる橋梁、隧道の中 では県内最古である。	建設年の判断できる煉瓦造の橋梁、 隧道の中では県内最古である。
192	3	4	(3)	②伊予鉄道	横河原線 煉瓦橋梁 左上から2番目写真タイ トル	煉瓦橋の平面図・立面図	煉瓦橋梁の平面図・立面図
192	3	4	(3)	②伊予鉄道	横河原線 石手川橋梁 上から3行目	イギリス積みの煉瓦製二基	イギリス積みの煉瓦造二基
194	3	4	(3)	③愛媛鉄道	【長浜～大洲～内子】 上から4行目	喜須木	喜須来
194	3	4	(3)	③愛媛鉄道	【長浜～大洲～内子】 上から8行目	結局は再度愛媛鉄道と 変更となり路線も	結局は再度愛媛鉄道に 変更となり、路線も
196	3	4	(3)	④宇和島鉄道	上から2行目	既に先んじている伊予鉄道	すでに先んじている伊予鉄道
196	3	4	(3)	④宇和島鉄道	上から3行目	有志による飽くなき申請への	有志によるたゆまぬ申請への
196	3	4	(3)	④宇和島鉄道	上から9行目	鉄道敷設の出願が為された。	鉄道敷設の出願がなされた。
197	3	4	(3)	宇和島鉄道・窓峠(まどのとう)隧道と暗渠群	沿革(歴史・由緒) 上から10行目	地元住民の協力に行政が対応し撤 去	地元住民の要請に行政が対応し、 撤去されている。
197	3	4	(3)	宇和島鉄道・窓峠(まどのとう)隧道と暗渠群	形態・構造の特徴 上から2行目	左側は谷積み、右側は岩盤 となっている。	左側擁壁は、谷積み、右側擁壁は 岩盤となっている。
197	3	4	(3)	宇和島鉄道・窓峠(まどのとう)隧道と暗渠群	形態・構造の特徴 上から5行目	はずされて置かれている。	はずされて地上に置かれている。
198	3	4	(3)	宇和島鉄道・窓峠(まどのとう)隧道と暗渠群	左上1番目写真タイトル	京の川 煉瓦製4段暗渠のある土手	京の川 煉瓦造4段暗渠のある土手
198	3	4	(3)	宇和島鉄道・窓峠(まどのとう)隧道と暗渠群	左上2番目写真タイトル	上流側の坑口	上流側の洞間
198	3	4	(3)	宇和島鉄道・窓峠(まどのとう)隧道と暗渠群	右上1番目写真タイトル	石組製暗渠、上流側	石組暗渠、上流側
198	3	4	(3)	宇和島鉄道・窓峠(まどのとう)隧道と暗渠群	右上2番目写真タイトル	石組製暗渠の内部	石組暗渠の内部
200	3	4	(4)	道路・橋梁	日本一の屋根付橋県 上から1行目	屋根付橋の数が全国一なのは今か ら20年前からだが、	屋根付橋の数が全国一なのは 20年前に判明している。
200	3	4	(4)	道路・橋梁	煉瓦造道路アーチ橋 上から15行目	単位体積当たりの事業費	単位体積当たりの工事費
202	3	4	(4)	明治橋	明治橋 左段下から1行目	数自体少ない。	橋例自体少ない。
202	3	4	(4)	明治橋	明治橋 下写真	竣工頃の明治橋	竣工当時の明治橋

頁	章	節	項	名称	訂正箇所	誤	正
206	3	4	(4)	長浜大橋	沿革(歴史・由緒) 上から2行目	唯一の可動橋	唯一の現役可動橋
210	3	4	(4)	千賀居隧道	<物件名・データ> 建築年	建築年	建設年
210	3	4	(4)	千賀居隧道	<物件名・データ> 所在地	大洲市平野町～八幡浜市川之内	八幡浜市川之内
210	3	4	(4)	三瓶隧道	<物件名・データ> 建築年	建築年	建設年
210	3	4	(4)	三瓶隧道	上から2行目	作られた。	造られた。
210	3	4	(4)	三瓶隧道	上から8行目	作られた。	造られた。
210	3	4	(4)	三瓶隧道	下から4行目	柱仕立てに装飾	柱仕立て(ピラスター)に装飾
211	3	4	(4)	隧道・トンネル	小網のトンネル 上から2行目	側壁は花崗岩	内部の側壁は花崗岩
211	3	4	(4)	隧道・トンネル	表1 県内の主な隧道・トンネル No.9 追記		名称 小名トンネル 竣工年 S13.12 西暦 1938 地点間 吉田町 道路 県道玉津港線 長さ 185m 洞門意匠 コンクリートでアーチ石と 石積み風目地入り 内部 コンクリートと煉瓦
211	3	4	(4)	隧道・トンネル	表1 県内の主な隧道・トンネル No.9 深浦トンネル 西暦	No. 9 西暦 1941	No. 10 西暦 1941頃
211	3	4	(4)	隧道・トンネル	表1 県内の主な隧道・トンネル No.9 深浦トンネル 洞門意匠、内部	No. 9	No. 10 洞門意匠 補修改変されている 内部 補修改変されている
212	3	4	(5)	宇留女川砂防堰堤群	参考文献 上から2行目	(『水利と土木』、1937)	(『水利と土木』、1937.7)

頁	章	節	項	名称	訂正箇所	誤	正
214	3	4	(5)	重信川砂防堰堤	参考文献 上から1行目	(『水利と土木』、1937)	(『水利と土木』、1937.7)
219	3	4	(5)	柿原水源地水道施設群	<物件名・データ> 設計・施工	大林組	設計顧問:大藤高彦、金子登 施工:大林組
219	3	4	(5)	柿原水源地水道施設群	形態・構造の特徴 上から6行目	昭和5年3月に開始された。工事は、 同年11月に竣工と記す。(工事はわ ずか7ヶ月で完成したことになるが、 記録ミスか?)	昭和5年2月に起工し、わずか11ヶ月 後の12月11日に竣工している。
222	3	4	(7)	加茂発電所	写真名称	吉野川の岩石を利用した取水堰	吉井川の岩石を利用した取水堰
226	3	4	(5)	鈍川発電所	形態・構造の特徴 上から2行目	発電所上屋	発電所建屋
226	3	4	(5)	鈍川発電所	形態・構造の特徴 上から6行目	昭和28年の北側立面図	昭和28年の北側立面図(㊸立面)
228	3	5	(1)	愛媛県庁	右段9行目	に生延期仕上げ	にペンキ仕上げ
241	3	5	(1)	北豫中学校講堂(現・松山北高等学校)	沿革(歴史・由緒) 上から6行目	加藤恒忠	加藤彰廉
243	3	5	(2)	新居浜武徳殿		昭和13年	昭和14年
255	3	5	(5)	下司医院	沿革(歴史・由緒) 上から9行目	淡支会支部	淡交会支部
269	3	5	(7)	亀岡家住宅	沿革(歴史・由緒) 上から6行目	藤渕氏に売却	藤渕氏から購入
269	3	5	(7)	亀岡家住宅	技法・意匠上の特徴 上から5行目	虫籠子窓風	むしこまど 虫籠窓風
274	3	5	参考	愛媛のモダニズム建築	左段 上から9行目	ジグジグ模様の	ジグザグ模様の
276	3	6		軍事・戦時遺産	陸軍部隊の本土決戦準備 左段写真	陸軍永長飛行場(昭和23年3月)	陸軍 ^{ながおさ} 永長飛行場跡 (中央やや右タテの線、 昭和23年3月)
280	3	6		八幡浜第一防空壕	<物件名・データ> 構造概要	木造2階建て、入母屋造棧瓦葺	コンクリート造
280	3	6		八幡浜第一防空壕	上から13行目	人件費を除く総工費70円	人件費を除く総工費7千円
282	3	6		松山海軍航空基地航空機掩体	<物件名・データ> 物件名	松山海軍航空基地航空機掩体	松山海軍航空基地航空機掩体 ^{えんたい}
283	3	6		八幡浜大神宮防空壕(八幡浜市)		10m内外の円曲した	10m内外の平面が婉曲した

頁	章	節	項	名称	訂正箇所	誤	正
286	3	6		奉安殿	右下写真名称	旧千町小学校奉安殿	^{せんじょう} 旧千町国民学校奉安殿
304	4			東平選鉱場・東平索道停車場	沿革(歴史・由緒) 下から2行目	石索道は廃止された。	石索道も廃止された。
304	4			東平選鉱場・東平索道停車場	沿革(歴史・由緒) 下から1行目	東平は閉鎖された。	東平は閉鎖となった。
304	4			東平選鉱場・東平索道停車場	形態・構造の特徴 上から1行目	第一挿入庫、第二挿入庫	第一装入庫、第二装入庫
314	4			山根競技場観覧席	沿革(歴史・由緒) 上から2行目	(専務取締役)	(当時:専務取締役)
328			資料編	愛媛県の近代化遺産一覧	整理番号13016	千賀居隧道	全削除
329			資料編	愛媛県の近代化遺産一覧	整理番号14030	千賀居隧道(再掲) 大洲市平野町～八幡浜市川之内	千賀居隧道 八幡浜市川之内
329			資料編	愛媛県の近代化遺産一覧	整理番号13042 名称	城戸龍郎家幽香庵(茶堂)	城戸龍郎家幽香庵(茶室)
330			資料編	愛媛県の近代化遺産一覧	整理番号14059 名称	東洋紡績川之石工場原綿倉庫 (八幡浜紙業)	東洋紡績川之石工場原綿倉庫 ()部分削除
331			資料編	愛媛県の近代化遺産一覧	整理番号16005 名称	港橋 親柱	港橋 親柱8基(移設)
332			資料編	愛媛県の近代化遺産一覧	整理番号18003	土屋隧道	削除(解体物件一覧へ)
335			資料編	解体物件一覧	解体物件の追加		整理番号 133 名称 土屋隧道 市町 鬼北町 旧市町 広見町 建設(建築)年昭和12年7月25日 中分類 道路・橋梁